

「カリグイニャ地区下水道建設計画」

在エクアドル日本国大使館において、平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「カリグイニャ地区下水道建設計画」のための、当館とプカラ市による贈与契約署名式が行なわれました。

供与額： 9,782,190円
贈与契約締結日： 2016年2月17日

アスアイ県プカラ市は中心部から約3.5 kmの距離に位置するカリグイニャ地区において、2005年に同地区中心部にある小学校から本管400mの浄化槽式下水処理設備を含む下水道を整備した。現在、同設備には10戸接続しているが処理能力不足のため実質機能しておらず、汚水は浄化槽から溢れ、付近を流れる河川に流れ着くため、自然環境への汚染も深刻である。残りの65戸には下水道が整備されておらず、それぞれの敷地内に家庭用浄化槽（地面に穴を掘り、汚水等を溜め、土壌に水分を浸透させる仕組み）を設置し生活排水の処理を行っている。しかし、家庭用浄化槽の使用限度期間は長くないため（平均1～2年程度）、次々と別の場所へ浄化槽を掘らないといけない上、維持管理には年間約300米ドルがかかり、同地区住民の家計を圧迫している。さらに毎年雨季になると、雨水排水設備が存在しないため雨水により増加した排水で浄化槽が満たされ、家屋の敷地内、農地、道路に汚水が流出しており、家庭内外において良好な衛生状態を保つことが困難な状況である。

計画実施前



本計画は、前述の地区において下水処理場を整備することによって、汚臭や用水路の汚水が解消され、用水路の隣接住民及び農家の衛生・生活環境改善に貢献しようとするものです。

計画実施前

